

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 子宮体がんサバイバーの内臓脂肪量変化の検討
	●研究の対象 山形大学医学部および浜松医科大学附属病院産婦人科において、2007～2019年に子宮体がんの診断で手術治療を受けた方のうち、以下の条件の方 ・病期Ⅰ期 ・類内膜癌 Grade1～2 ・両側付属器摘出術施行 ・大網切除術施行なし
	●研究の目的 子宮体がんの治療は子宮と両側卵巣を摘出する手術療法が主です。そのため、閉経前の方は手術（両側卵巣摘出）によって閉経することになります。一般的に、閉経後の女性ホルモンが低下した状態では内臓脂肪の増加が起こることが言われています。この内臓脂肪増加はメタボリック症候群や脳卒中などの心血管疾患発症に繋がります。本研究は、手術によって閉経した子宮体がん患者さんと、閉経していた子宮体がん患者さんの内臓脂肪量の変化を測定して、手術によって閉経した患者さんの内臓脂肪量変化に特徴があるのかを明らかにすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から（西暦）2028年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では山形大学から浜松医科大学へ、セキュリティの担保されたクラウドストレージを用いて情報が提供されます。情報には個人を特定できる情報は含まれていません。ま	

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	た、情報と個人を照合するための表は提供元で管理されます。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、既往歴、合併症、術後ホルモン補充療法施行の有無、身長、体重、病理検査結果、既存のCT画像（皮下・内臓脂肪面積を測定する目的で使用します） 個人を特定する情報は使用しません。
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 研究責任者：産婦人科学講座 成味恵 既存試料・情報の提供機関：山形大学 提供担当者：産婦人科学講座 山内敬子
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 産婦人科学講座 担当者： 成味 恵 TEL： 053-435-2309